

【3月13日】

◆習近平による国家主席の任期撤廃について、将来の不確定要素もあることながら全体としては楽観視されている。

中国政府は反腐敗運動を緩和しており、消費者は富を享受出来るようになりつつある。

自分の意志で物を購入する中国女性が増加。

香港の1月のジュエリーと時計販売は10%増加し10億ドルとなった。

De Beersサイト出来高は5億5,500万ドル、原石価格上昇が研磨業者の利益率を圧迫している。

原石は約5%の付加価値付きで販売されており取引は堅調。

◆インド：大手サプライヤーはダイヤモンド価格を維持している。

GIA dossier付や1ct、G-H、VS-SI需要が良好。

スター・メレ価格改善。銀行は、Nirav Modi-Gitanjali

ダイヤモンド市場概況

反腐敗運動緩和、中国市場への期待高まる

Gems詐欺事件により業界への貸付に慎重。

信用力低下及び原石価格上昇が資金繰り悪化を招いている。

◆香港：香港ショーは期待された程ではなかったが、ダイヤモンド市場は前向き。

大手香港ブランドは小売事業拡大のため商品を探している。

0.30-1ct、D-J、VS-SI(3EX、無蛍光)に安定した需要がある。

ファンシーカラー・ダイヤモンドの売行き好調。

◆RapNet Diamond Index (D-H、IF-VS2)先週に引続き平均価格下落。

ベストプライスは0.7ctが-0.9%、1.5ctが-0.3%と下落、2.0ctは変わらず他はやや上昇。

平均価格は0.3ctが-10.3%、0.5ctが-7.3%と暴落、2.0ctが+1.0%、3.0ctが+0.5%と僅かに上昇したものの他は下落。

Rapaport® Diamonds.netより一部抜粋

【提供：株式会社ネットジャパン http://www.net-japan.co.jp/market/2018/03/post_204.html】

実店舗の魅力的な売場づくりとは

スーパーデリバリー主催

㈱ラクーン(東京都中央区、小方功社)が運営する卸・仕入れサイト「スーパーデリバリー」は、アパレル・雑貨を扱う小売店を対象に「商品バイイングから考える、実店舗の魅力的な売場づくりとは」をテーマにしたセミナーと交流会を、3月13日、19時〜21時に、東京都渋谷区にあるhoop link Tokyoで開催する。

セミナーでは、「扱う商品や品揃えでお客様をわくわく魅了することができるのが小売の醍醐味。そのためにどのよ

うな商品を扱い、どのような品揃えがお客様を惹きつけるのか、また売りに上げるに繋がるのか? そして店舗だからこそ提供できる価値とは?」をテーマに、「小田急百貨店」の紳士服担当バイヤー、中村要氏と大手雑貨チェーンストア「Loft」の開店準備室のバイヤーなどを経て雑貨ショップ「神楽坂ブリュー」でコーディネーターを務める安美和氏を招き、スーパーデリバリーでチーム統括リーダー兼インポートブランド担当バイヤーと販売責任者を務める竹内氏がモデレーターとして、2人の考えや戦略を訊く。参加費は2000円(軽食、ドリンク付)、会員は無料。申し込みは、http://ptix.at/sA40N5。



上野延城のこれぞカエル

「時流」「対応」のビジネスに役立つヒント

www.mmjp.or.jp/UENO-JMI

コト消費とは、一般的にはモノを所有したり、モノの機能を消費するのではなく、商品やサービスを購入することで得られる体験・時間などを楽しむ消費とされる。

モノが売れない時代、消費者の心をつかむためには、コト消費の視点を欠かさないといわれている。

コト消費が広がっているのは、消費者が物質的な豊かさよりも心の豊かさを重視する傾向にシフトしているからである。

コト消費では同じ商品・サービスでも消費者がさまざまな目的で消費を楽しむ。

心の豊かさを重視する人の割合は年々増加傾向になる。

新しい生活ニーズをかなえるのは、モノよりコトであることからコトが支持されている。コト消費にマッ

チする商品・サービスを提供するには、コトづくりの視点がポイントになる。

コトづくりとは、商品・サービスの価値を生み出す仕組みやプロセスをつくり上げることである。

イトインコーナーを設けているスーパーでは、このコーナーを活用して体験教室や工作教室を開催している。

ある宝飾店では、集客方法として、ここにワークショップを開催している。

どなたでも、気軽に楽しく、手作り体験をしてみませんか?の案内をしたところ若い子供づれの客が集まり、「木のお絵書き時計」作りをたのしんだ。定期的に開催しているワークショップは新規客づくりになっている。

「コト」訴求で新規客づくり



レッドカーペットのみで発表のアトリエ・スワロ日本初公開

スワロフスキー・ジャパンは、これまでカンヌ国際映画祭、アカデミー賞などの

レッドカーペットのみで発表してきたアトリエ・スワロフスキー ファイン・ジュエリーコレクションを、スワロフスキー銀座の10周年を記念し、4月1日まで日本初展示している。

日本で初めて紹介される同コレクションは、科学的な裏づけを基に自然にインスピレーションを受け、合成ダイヤモンド、合成エメラルドそしてクリスタルを使用。スワロフスキーのクラフツマンシップや革新性など持続可能な活動へのコミットメントという不可欠な要素が反映されている。

レッドカーペット向けの製品を専門

とするバリのアトリエにおいて、1点1点手作業で作られたネックレス、ブレスレット、イヤリング、リングは、「Mosaic」「Art Deco」「Concentric」という3つのテーマからインスピレーションを得ている。

スワロフスキーが製作した合成ダイヤモンドは、最先端の研究所で作られたもので、天然ダイヤモンドと同じ光学的、化学的、物理的特性を持つ。いずれも炭素100%であり、同じ硬度と輝度がありながら、ダイヤモンドの採掘に関する影響を地球に与えることがない。また、環境に配慮した製品作りは、スワロフスキーの創設者であるグニエール・スワロフスキー氏が会社を創業した時から変わらぬスワロフスキーのミッションとなっており、責任ある社会的・環境的活動を推進するためにジュエリー業界が設立した組織、Responsible Jewellery Councilの認定メンバーである。



仮想通貨取引をはじめました。

日常の中に仮想通貨が入り始めています。家電量販店では仮想通貨の支払いが可能になったし、一部の大学で寄付金を仮想通貨で受け付けている。

一見すると怪しげな、海のものとも山のものとも判別しづらいシロモノと思われがちだが、どうやら少しずつだが市民権を得つつあるようだ。頭の中で考えていても仕方ないのでデジタル通貨ともいうべきこの仮想通貨を手に入れるべく、取引を始めてみた。

今の世代にとっては口座開設など簡単に極端に安いが、アナログで長年やってきた私のようなものには申し込みそれぞれ自身が結構厄介である。コインチェック社の流出騒動の後だったのでまずは正式な登録業者A社のホームページにアクセス、「はじめてのかたへ」の窓から案内に従って必要事項を打ち込みトントンと進んだのだが、最後の方に「本人確認」の項目がある。ここで貰った画像を送れという。おおい最初

BICO・GHI株式会社 エムシージーマネキン紹介事業部 東京 TEL.03-3409-6954 札幌 TEL.011-219-0758 大阪 TEL.06-6348-1020

言ってよ。そんな準備してないよ。ここでいったん申し込み打ち切り。改めてデジカメで免許証の写真撮ってパソコンに挿入。また最初から申し込んだがどうもうまいかない。

結局A社を諦めて登録業者のB社へ。やり方はほとんど同じで何とか免許証の画像を送ることが出来た。出来たことは出来たが、アナログ派にはたぶん一つの壁はこの画像処理にあると立える。要するに「はじめてのかたへ」の立場に立った申込みシステムとしては出来ないと。あのコインチェック社が急速に伸びたのは、使う側の使い勝手の良さがあると聞いたことがあるが、やってみるとよくわかる。技術屋によくある「分かるやつにしからぬ」システムなのだ。

そこで、申し込みが済んでから10日位すると業者から確認のパスワードが送られてきて、これを打ち込んで取り開始。(入金はとりあえず3万円)

たぶんFXを経験している人には普通。本人を証明する免許証なり保険証の画像を送れという。おおい最初

れろで仮想通貨を買う。といってもいくつものデジタル通貨が並んでいるがどれを購入するかその基準が分からない。いやいや仮想通貨がなんているのか、どう違うのかその

家庭用永久磁石磁気治療器 ULTRA Neo PAT Japan USA China EPC 金具のないネックレス

狼を夢みる。 男は、歳をとっていった。致命的な傷も負っていた。男の気に入りの中華料理店は、虎ノ門病院から5分ほどの西新橋にある。この一帯は、虎ノ門と隣接して、お役所関係とおぼろしい小型の事務所も多く、そうした事務所が寄り合うのに都合のいい雑居ビルも多い。見上げれば、大空にスツクと立ち上がる超近代的な虎ノ門ビルがあり、高層ビルも多いが、イメージは雑居ビルと雑居ビルの間を埋める古い家屋だ。古い家は多くは飲食店で、これがなかなかいい雰囲気を出している。下町風とか、新橋風とか、男たちはまるで羽虫のように、懐かしい灯りに吸い寄せられるのだ。彼の気に入りの中華料理店は、中華料理店と呼ぶには、古く雑然としすぎる。ドンキホーテのような間髪も、客席に段ボールが積んである。壁に昔懐かしい焼酎のポスターが貼ってある。ガムテープで留めてある。ポスターはセピア色、ガムテープの一部が剥がれている。かといって、ラーメン屋と呼ぶには大きい。酒の種類も多く、焼酎、日本酒が壁一面にスツリと並んでいる。メニューも多く、客たちは、居酒屋として楽しんでい

たちが集まる。彼が店に行くのは、いつも4時頃だ。店は大抵大きな字形をしていて、彼はいつも、入り口から真っ直ぐに入った。客の少ないトイレの横の席に、野菜スープを注文する。3人入りの小籠子を注文する。気分と体調により、野菜スープが天津麺に変わる。今日は、天津麺だ。トロリとした甘味は、野菜の旨味が生きていて、濃いの味が食べやすい。麺を噛むように上に載せておいた卵の焼き加減も申し分ない。隠し味は、甘いトロミとの絡みで、いい味となる。この中華料理店のゆつたりとした時間は、いつも昔の思い出を懐かしむことにしている。若き日、自分に狼のイメージを重ねた時期があった。格闘技に夢中になった頃だ。ライオンも虎でもない。狼だ。大学空手道では、5人1チームの団体戦が花形だった。個々手を付け、集団で戦う。その感覚が狼を連想させた。だが、それだけではない。すでに絶滅に向かう切ない運命に、ひどく惹かれたのだ。絶滅に向かう切ない運命に、ひどく惹かれたのだ。絶滅に向かう切ない運命に、ひどく惹かれたのだ。絶滅に向かう切ない運命に、ひどく惹かれたのだ。

狼のチームを移住させた。リーダーは、雄々しい雄狼と連れ添う雌狼。優れたリーダーで、仲間たちの信頼が絶大だ。だが、ある怪我が元で、雄狼が死んだ。雌狼は、リーダーとして狩りを率いたが、うまいか。空腹を抱えた仲間たちは群れを離れ、やがてチームは分解した。雌狼は孤狼となった。どんなに勇敢でも狼は、一匹では狩りはできない。だが、その雌狼は、孤狼にも生き、孤狼の狩りを続けた。それが、その方法はない。さもなくば、死だ。やがて、彼女は、孤狼の狩りで成果をあげ始めた。彼女には、勇気とともに知恵があった。仲間たちが帰ってきた。イエローストーンで実際にあった狼の話だ。彼は、この話が大好きだった。天津麺を箸でつまみながら、自分の昔を狼に重ねたとき、いつもこの話を思い起こし、そのときの仲間たちの顔を、二人一人思い出す。すでに半分の友が、鬼籍の人となった。彼が好きだった。彼は、横殴りの吹雪のなかを、押し黙って疾走する群れと、暗れた穏やかな陽射しの草むらで、母狼に甘える子狼の姿だ。時計が6時を告げ、街がいつそうさうさめく頃、彼はゆつくりと立ち上がり、バス停に向かう。風がむせぶ。男は、歳を取っている。致命的な傷を負っている。彼には、狼を夢みる時間が必要だ。

(たかの耕一:tagayasu@xpoint-plan.com)

辺の基本中の基本がよくわからない。でも何もない。せいぜい政府機関の規制強化の程度ぐらいしかない。そういう意味では、ビットコイン長者というのは偶然の産物のように思える。とても大金を投資するに値するシロモノとは思えないが、通貨としての国境を越えた便利さということからいえば将来性はあるだろう。投機的面面ばかりが話題になってはいるが、もう少し価格の変動幅が落ち着くかそういうシステムになれば支払い手段としてはそれなりに有り得るだろう。もう少しこの仮想通貨に力をつけていくつもりだが、時代の先端に触れていることの意義はあるように感じている。

貸付 cosmoloop.22k@nifty.com

一秒が一生涯を決める。 年差±5秒の精度、光発電エコドライブ。 The CITIZEN Eco-Drive CITIZEN BETTER STARTS NOW